

平成23年度
実施事業

事務事業名 戦没者追悼式関係経費

区分	No	名称					
章	6	担いあうまちづくり					
節	9						
施策	9						
小分類	9						
主要な施策	9						
事務事業番号	001	事業開始年度	昭和 46 年度	事業終了年度	平成 - 年度	会計種別	一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	戦没者の霊を慰め平和を祈念する。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	国や北海道が行っている戦没者追悼式に準じて、戦没者遺族をはじめ関係者の参列のもと市が式典を実施し、本市出身の戦没者の霊を慰め追悼し、平和を祈念する。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	二度と惨禍の起こることのないような平和な社会を維持する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

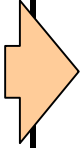
《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	415	410	470	470	470
事業費 合計			415	410	470	470	470

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	戦没者追悼式参列者数	人	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	90	98			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》 戦没者追悼式に参加する人の減少。	具体的な対策、解決の方向性《事業後》 式典の規模の縮小や会場の変更を検討する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	 <ul style="list-style-type: none"> 市が主体に行うべき事業である 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である 国、道、民間等の事業と重複・類似している 	判断理由及びその他所見 戦没者の霊を慰め追悼し、平和を誓う重要な行事であり、国や道をはじめ全国の市町村においても実施しており妥当性は高い。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	 <ul style="list-style-type: none"> 市民、団体等から具体的な要望がある 市民アンケートの結果から必要性が高い 社会情勢、地域事情等から必要性が高い 市民の大部分が関連することから必要性が高い 	判断理由及びその他所見 戦没者遺族の高齢化が進んでおり、参加者が減少傾向にあるが、戦没者の追悼と平和を誓う行事を開催する必要性は高い。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	 <ul style="list-style-type: none"> 低予算、少労力で高い効果をあげている 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い 多額の経費や労力を要するがやむを得ない 将来的に効率性を向上できる 	判断理由及びその他所見 式典の規模や会場などの見直しを検討したが、会場を市民会館大ホールから2階の中ホールへ移し祭壇などを縮小した場合でも、花等の運搬には1階より経費が高むことがわかり、現状では経費を削減する事は難しい。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	 <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の向上が見られる 市民、団体等の声から成果を感じられる 目に見える形で成果があがっている 成果の把握は困難である 	判断理由及びその他所見 一般市民の参加を呼びかけるとともに、平和を祈念する行事を同時開催することにより、成果を向上させることができる。

担当グループによる評価 《Check》

改善	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	式典については実施する必要があると考えるが、規模や会場などについて引き続き検討する。 今後においては、会場を他の場所に移した場合の経費や実際に行えるかなど、規模の縮小・経費の節減の見直しに努める。
-----------	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

改善	備考	開催場所や規模について、引き続き効率的な実施に向け方策を検討していくこと。
-----------	----	---------------------------------------